

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日		
所属	職名	氏名	
理工学部	准教授	青柳 憲昌	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
『今庄宿 ―伝統的建造物群保存対策調査報告書―』、2019年3月	共著	2019年3月	南越前町観光まちづくり課発行	大場修・南竹磨・松田法子・福井宇洋・多米淑人・青柳憲昌・今出瑞穂・高嶋猛・坪田叡伴・島田敏男	89-91, 103-105, 124-126, 175-180, 224-236, 239-245
『文化遺産と〈復元学〉―遺跡・建築・庭園復元の理論と実践―』	共著	2019年11月	吉川弘文館	海野聡編、著者：青柳憲昌他	119-164
『日本近代の建築保存方法論―法隆寺昭和大修理と同時代の保存理念』	単著	2019年12月	中央公論美術出版	青柳憲昌	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
「旧北国街道今庄宿における近代町家の建築的特徴」	共著	2019年5月	『民俗建築』	青柳憲昌・坪田叡伴・大場修	pp.8-17
「武田五一設計の法隆寺鶴文庫および宝蔵の建築史的価値」	単著	2019年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』	青柳憲昌	pp.573-576
「福井県旧今庄宿における近代町家の特徴と島崎文四郎の仕事」	共著	2019年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』	坪田叡伴・青柳憲昌・大場修	pp.473-476
「1950年代の建築関係誌に見る鉄筋コンクリート造による伝統表現手法」	共著	2019年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』	菅谷英之・青柳憲昌	pp.577-580
「滋賀県草津市・鞭崎神社本殿の建築的特徴」	共著	2019年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	森本慶介・村田典彦・星野安治・青柳憲昌	751-752
「長江家住宅北棟の復元的考察」	その他	2019年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	吉田成宏・青柳憲昌	851-852
「旧今庄宿大黒屋(主屋)の建築史的価値」	共著	2019年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	青柳憲昌・坪田叡伴・大場修	857-856

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
「法隆寺昭和大修理による金堂壁画防災対策と収蔵庫建築」	単著	2019年1月	立命館大学歴史都市防災研究所定例研究会	青柳憲昌

「法隆寺金堂壁画保存活用委員会アーカイブWG 中間報告」	単著	2019年1月	第4回法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキング・グループ(第4回)全体会合/法隆寺金堂壁画保存活用委員会(第5回)	青柳憲昌
「中間報告〈アーカイブWG〉」	その他	2019年2月	「一法隆寺シンポジウム—法隆寺金堂壁画、未来へ」	青柳憲昌

その他研究活動				
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）	
朝日新聞「収蔵庫に守られ 新たな亀裂なし 総合調査3年 中間報告」朝日新聞（全国版）2019年1月28日19面（誌面にコメント掲載）	単独	朝日新聞（全国版）	2019年1月28日～	
朝日新聞「収蔵庫「大地震耐える」朝日新聞（全国版）2019年1月28日30面（誌面にコメント掲載）	単独	朝日新聞（全国版）	2019年1月28日～	
「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第2回 吉田五十八 ——戦後の『新興数寄屋』」青柳憲昌『ディテール』219号、2019年1月号、彰国社、pp.109-116	単独	雑誌『ディテール』（彰国社）	2019年1月～	
『奈良ホテル（本館）文化財的価値の調査報告書』西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部企画課・ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社、2019年2月、p.11（建物構造に関する所見掲載）	その他	『奈良ホテル（本館）文化財的価値の調査報告書』	2019年2月～	
朝日新聞「樹脂による硬化 火の影響少なめ」朝日新聞（全国版）2019年3月10日27面（誌面にコメント掲載）	単独	朝日新聞	2019年3月10日	
「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第3回 吉村順三 ——民家のディテールを再編成する」青柳憲昌『ディテール』（220号）、2019年4月号、彰国社、pp.101-108	単独	雑誌『ディテール』（彰国社）	2019年4月	
「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第4回 吉田五十八 RC造にふさわしい『伝統』とは何か」青柳憲昌『ディテール』（221号）2019年6月号、彰国社、pp.101-108	単独	雑誌『ディテール』（彰国社）	2019年6月	
「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第5回 前川國男 テクニカル・アプローチを経由した『伝統』との邂逅」青柳憲昌『ディテール』（222号）2019年9月号、彰国社、pp.121-128	単独	雑誌『ディテール』（彰国社）	2019年9月	
第6回日本建築学会近畿支部建築史部会研究会「近世中・後期寺院建築調査の最新成果」、2019年12月7日、司会として、於・京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス1号館	その他		2019年12月7日	

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	泉 知論

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Example-based Face-image Restriction for Block-noise Reduction	共著	2019年3月	Journal of Image and Graphics, vol.7, no.1, pp.9-17, DOI 10.18178/joig.7.1.9-17	Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi and Hironori Yamauchi	
獣害対策のための監視カメラ向けアライグマ検出器の構築と評価	共著	2019年5月	画像電子学会誌, vol.48, no.2, pp.237-247	初田慎弥・大野真史・孟林・泉知論	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Improved Face Image Super-resolution with Restricted Patch-searching Area	共著	2019年1月	4th International Conference on Multimedia and Image Processing (ICMIP2019), 6-A0007, pp.29-35	Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi and Hironori Yamauchi
FPGA ベース AI システムの開発	単著	2019年1月	第3回 VLSI センターシンポジウム	泉知論
野生動物自動認識のためのデータベースの構築と深層学習の試行	共著	2019年3月	画像電子学会第288回研究会予稿 18-03-12, pp.66-71	宮下洗大・初田慎弥・孟林・泉知論
土地利用別面積推定のための地図の自動領域分類手法	共著	2019年3月	画像電子学会第288回研究会予稿 18-03-13, pp.72-78	高須柁樹・渡邊清威・孟林・泉知論
甲骨拓本からの自動文字抽出手法と支援環境	共著	2019年3月	画像電子学会第288回研究会予稿 18-03-14, pp.79-84	渡邊清威・孟林・泉知論
モンテカルロ法に基づいた駒属性推定によるガイスターゲーム AI	共著	2019年3月	the 3rd Game AI Tournament (GAT2019)	園田夕莉・泉知論
a Platform of Micro UGV for Small Scale Autonomous Driving System Using SoC FPGA	共著	2019年6月	10th International Symposium on Highly Efficient Accelerators and Reconfigurable Technologies (HEART2019)	Yuya Kudo, Atsushi Takada, Takumi Sakai, Tomonori Izumi
SoC FPGA による小型自律走行車の位置推定と経路計画の試行	共著	2019年9月	電子情報通信学会技術研究報告, vol.119, no.208, RECONF 2019-24, pp.19-24	工藤裕也・高田厚志・泉知論
An SoC-FPGA-Based Micro UGV with Localization and Motion Planning	共著	2019年12月	2019 International Conference on Field-Programmable Technology (FPT'19), pp.469-472, DOI 10.1109/FPT.2019.00095	Yuya Kudo, Atsushi Takada, Yuta Ishida, Tomonori Izumi

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	伊津野 和行

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
2017九州豪雨による橋の被害	単独	立命館大学防災フロンティア研究センター 2017年度第2回セミナー, メルパルク京都, 京都市	2017年10月20日

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	助教	宇佐美 智之

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
ソグドの都市：カフィル・カラ遺跡の調査から	単著	2019年8月	考古学ジャーナル(730巻)	宇佐美智之	36-38
中央アジア・オアシス地帯における都市の発達過程と空間構造に関する調査研究—サマルカンドおよびその周辺域を中心として—	単著	2019年11月	高梨学術奨励基金年報：平成30年度助成研究成果報告	宇佐美智之	31-38

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
ウズベキスタン、カフィル・カラ遺跡の発掘調査(2018年)：シタデルを覆う火災層の調査	共著	2019年3月	第26回西アジア発掘調査報告会	村上智見・ベグマトフアリシエル・バルディムロドフアムリディン・ボゴモロフゲンナディー・寺村裕史・宇野隆夫・宇佐美智之

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	大窪 健之

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Memory of 2015 Earthquake	共著	2020年1月	Subhash Printing Press	サキヤラタ・金度源・大窪健之	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
複合連結式天守の国宝松本城における実践的な避難誘導方法に関する研究	共著	2019年2月	日本建築学会計画系論文集（84巻756号）	小西慶哉・大窪健之・金度源	507-515
Utilization of Historical Courtyards as Evacuation Sites during Gorkha Earthquake 2015 - At Patan old town, Kathmandu Valley, World Heritage Site in Nepal	共著	2019年6月	XVII INTERNATIONAL FORUM 'LE VIE DEI MERCANTI', WORLD HERITAGE and LEGACY	Takeyuki OKUBO, Sanshiro TAKASUGI, Lata SHAKYA	
松本城と周辺地域の防災拠点としての能力評価に関する研究 - 帰宅困難者への支援を想定して -	共著	2019年7月	歴史都市防災論文 vol.13	大窪健之・植本幹大・金度源	123-130
伝統的空間における震災備蓄計画に関する研究 - 世界遺産カトマンズ盆地・パタン地区を対象として -	共著	2019年7月	歴史都市防災論文 vol.13	小川和馬・大窪健之・サキヤラタ・金度源	107-114
ホース延長が可能な改良型市民消火栓の配置計画に関する基礎研究 ~ 模擬初期消火活動の実証実験と京都市清水周辺地域での改善配置計画を目指して ~	共著	2019年7月	歴史都市防災論文 vol.13	金度源・大和田智彦・大窪健之・林倫子	131-138
地域コミュニティにおける水害伝承の実態 - 滋賀県甲賀市信楽町勅旨区を対象として -	共著	2019年7月	歴史都市防災論文 vol.13	林倫子・昌子知正・大窪健之・金度源	193-200
Dealing with multiple hazards and threats on cultural heritage sites: an assessment of 80 case studies	共著	2019年6月	Disaster Prevention and Management, Emerald Publishing Limited	Lee Boshier, Dowon Kim, Takeyuki Okubo, Ksenia Chmutina, Rohit Jigyasu	DOI 10.1108/DPM-08-2018-0245
歴史地区におけるコミュニティの防災意識と地域特性に関する研究~京都市・上賀茂重要伝統的建造物群保存地区を対象として~	共著	2019年6月	平成31年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第59号・計画系	仲田直矢・大窪健之・金度源	5053
温泉街の防災資源を活かした帰宅困難者対策~道後温泉周辺地域を対象として~	共著	2019年6月	平成31年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第59号・計画系	白根史崇・大窪健之・金度源	7018

伝統的空間における震災備蓄計画に関する研究－世界遺産カトマンズ盆地・パタン地区を対象として－	共著	2019年6月	平成31年度日本建築学会近畿支部研究報告集、第59号・計画系	小川和馬・大窪健之・サキャラタ・金度源	7024
--	----	---------	--------------------------------	---------------------	------

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
招待講演：地域で取り組む防災まちづくり～歴史的建造物「群」の防災を考える～	単独	出石まちなみ保存会「防災学習会」、出石町役場	2019年1月17日～
招待コメンテーター：防災工学（演習）	単独	京都工学院高校3年生クラス	2019年1月25日～
講演：西日本豪雨災害による文化遺産被害の緊急報告	単独	日本建築学会・文化遺産災害対策小委員会拡大研究会	2019年1月25日～
招待講演：Exercise of “Disaster Imagination Game (DIG)” ～ for Developing the Better Understanding of Disaster Risk Management Plan for Urban Cultural Heritage Complex with Community Participation ～	共同	“School-based Approach in Promoting Disaster Risk Mitigation for Cultural Heritage”, Kampong Ayer, 28-31 January 2019, Bandar Seri Begawan, Brunei Darussalam	2019年1月28日～2019年1月31日
招待講演：木の国における災害の歴史と防災の知恵	単独	住宅研究会主催・連続環境セミナー第2クール、JIA 愛知地域会	2019年5月11日～
招待講演：歴史を活かした防災まちづくり	単独	彦根歴史的風致活用実行委員会、芹橋辻番所	2019年7月2日、9月7日、11月24日～
防災ワークショップ運営：歴防 DIG @出石重伝建地区	単独（研究室）	豊岡市教育委員会、豊岡市出石支所	2019年7月16日、23日、30日
招待講演：災害から文化遺産と地域を守る減災の知恵	単独	2019年度前期インテリジェントアレー撰壇塾、関西生産性本部・監査経済連合会	2019年7月22日～
招待講演：Disaster Mitigation of Urban Cultural Heritage & Case Project in Kiyomizu, Kyoto	単独	2019年度マレーシア国別研修・MJIT 防災修士コース本邦プログラム、JICA	2019年7月31日～
講演：The outline of Fire Water Supply Project for Earthquake Mitigation in Kiyomizu District	単独	ICOM 会議・Disaster Risk Management Session	2019年9月4日～
講演：JICA 課題別研修【世界遺産の適切な管理を通じた観光振興】A、B	単独	JICA	2019年10月4日、12月5日～
講演：インドネシア国家開発企画庁（BAPPENAS）防災研修「歴史都市防災研究所の取り組みと清水周辺地域の防災水利整備プロジェクト」	単独	インドネシア国家開発企画庁（BAPPENAS）	2019年11月25日～
講演＋パネルディスカッション：「地域と協働で実施していく防災まちづくり」	単独	和歌山県ヘリテージマネージャー・スキルアップ講習会、和歌山県建築士会館	2019年12月7日～
講演：「地域と協働で実施していく防災まちづくり」	単独	あいこうか生涯カレッジ（甲賀市）、立命館大学びわこくさつキャンパス	2019年12月21日～

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
地域防災情報システム・警報システム、分割特許（2019年7月12日）	共同	共同	2014-005324	6340197	6552677	日本
地域防災情報システム、分割特許（2019年7月12日）	共同	共同	2014-206759	6325412	6552668	日本

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	岡井 有佳

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
地中海を旅する 62 章	分担執筆	2019年2月	明石書店	岡井有佳	143-147

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
北海道奥尻島における津波と居住の歴史	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集 (13巻)	薬袋美奈子・岡井有佳	
無電柱化の実施優先度検討における路線評価に関する研究	共著	2019年9月	2019年度大会学術講演梗概集 F-1	小原雅人・馬場美智子・岡井有佳	201-202
水害リスクを考慮した居住誘導区域の設定に関する研究～広島県三原市の立地適正化計画に着目して	共著	2019年9月	2019年度大会学術講演梗概集 F-1	大橋克矢・馬場美智子・岡井有佳	723-724



## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	小川 圭一

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
CVMを用いた金沢市内の文化遺産の防災対策に対する支払意思額に関する分析	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集 Vol.13	小川圭一・谷本雄太郎	147-154

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
CVMを用いた金沢市内の文化遺産の防災対策に対する支払意思額に関する分析	共著	2019年7月	第13回歴史都市防災シンポジウム	小川圭一・谷本雄太郎

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部	助教	小野 聡

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning (Translational Systems Sciences)	共著	2019年9月	Springer	Satoru ONO, Michinori Kimura	408-417
A Study on Effect of "Information Mismatch" Simulation on Victims' Quality of Life and Sense of Place in the Post-Disaster Period	共著	2019年9月	Springer	Hiroari SHIMIZU, Ryoya TOMENO, Quirino CROSTA, Micaela MERUCRI, Satoru ONO, Hidehiko KANEGAE, Paola RIZZI	287-298

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
トピックモデルを用いた住民の居住継続意図と地域への愛着を規定する要因抽出—高島市朽木地区におけるアンケート調査を通して—	共著	2019年3月	京都歴史都市災害研究(20巻)	小野聡・木村道徳・上須道徳	13-21
環境情報を踏まえた参加型計画プロセスの設計—既存研究と高島市朽木地区における実践を踏まえた考察—	共著	2019年3月	環境科学会誌(32巻2号)	小野聡・木村道徳	65-74

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Participative Planning for Public Transportation System in Japanese Population Decreasing Area	単著	2020年3月	59th Annual Meeting of WRSA	Satoru ONO

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部	教授	鐘ヶ江 秀彦

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
A Study on Effect of “Information Mismatch” Simulation on Victims’ Quality of Life and Sense of Place in the Post-Disaster Period, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwatthana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) “Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning”	共著	2019年11月	Springer	Hiroari SHIMIZU, Ryoya TOMENO, Quirino CROSTA, Micaela MERUCRI, Satoru ONO, Hidehiko KANEGAE and Paola RIZZI	287-298
A Study on Gaming of Participatory Evacuation Planning in Tourist Area using Agent Simulation, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwatthana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) “Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning”	共著	2019年11月	Springer	Sakai Kohei, Shimizu Hiroari, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	276-286
Gaming Simulation as a Tool of Problem-based Learning for University Disaster Education, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwatthana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) “Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning”	共著	2019年11月	Springer	Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	237-245
Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning	共著	2019年11月	Springer	Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwatthana Pongchai, Chaisanit Settchai and Rizzi Paola	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Integration Process of Indigenous and Scientific Knowledge for Disaster Risk Reduction in Mentawai Island	共著	2019年7月	International Journal of Disaster Management(2巻1号)	Zulfadrim, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	1-12

Mitigating Simultaneous Returning Home after Large-Scale Earthquakes: Changing Tourists' Intentions to Stay through Public Support	共著	2019年12月	IOP Conference Series: Earth and Environmental Science (361 巻)	Kohei Sakai, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae	012004
--	----	----------	--	--	--------

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
A Study on Evacuation Method Using Agent Simulation Based on Tourists' Behavioral intention	共著	2019年7月	Silk Cities 2019	Kohei Sakai, Hidehiko Kanegae
訪日外国人観光客の防災意識に関する研究：京都市を事例に	共著	2019年9月	日本地域学会	酒井宏平・鐘ヶ江秀彦
先端技術が風土化した将来社会における地域防災	共著	2019年9月	日本地域学会	小野聡・清水泰有・熊澤輝一・寺田匡宏・鐘ヶ江秀彦
SDGsの目標達成のために近未来へ向けて大学が貢献できることは何か	共著	2019年9月	日本地域学会	鐘ヶ江秀彦
個人の地域防災行動意図における社会的 手抜きの特徴に関する研究 -個人の地域防災組織に対する信頼に着目して	共著	2019年9月	日本地域学会	留野僚也・豊田祐輔・鐘ヶ江秀彦

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	川崎 佑磨

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
底泥を使用したポーラスコンクリートの閉鎖性環境下における水質への影響に関する研究	共著	2019年7月	コンクリート工学年次論文集(41巻1号)	下原怜也・川崎佑磨・佐藤圭輔・山田悠二	1475-1780
RI計器の線源棒直下の空間がポーラスコンクリートの空隙率推定値に与える影響	共著	2019年7月	コンクリート工学年次論文集(41巻1号)	白川裕太・王子哲・山田悠二・川崎佑磨	1457-1462
銅スラグ細骨材とマンガンスラグ粗骨材およびフライアッシュを使用した重量コンクリートのフレッシュ性状および耐摩耗性の検討	共著	2019年7月	コンクリート工学年次論文集(41巻1号)	戸松功祐・山田悠二・川崎佑磨・横井克則	1547-1552
免震ゴム支承の内部損傷検知に関する数値解析的研究	共著	2019年9月	日本地震工学会論文集(19巻5号)	能勢侑希・伊津野和行・川崎佑磨	283-293

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
線源棒先端の空間がRI法で推定した空隙率に与える影響	共著	2019年5月	2019年度土木学会関西支部年次学術講演会	白川裕太・王子哲・山田悠二・川崎佑磨
電気化学ノイズ測定によるコンクリート中の鉄筋の腐食開始検出	共著	2019年9月	2019年度日本建築学会大会学術講演会	池沢樹・金侖美・福山智子・康田雄太・川崎佑磨

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	准教授	河角 直美

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
『地図で楽しむ京都の近代』	分担執筆	2019年2月	風媒社	上杉和央・加藤政洋編著	22-29, 30-35, 36-45, 100-105
『文化情報学事典』	分担執筆	2019年12月	勉誠出版	村上征勝監修	371-377, 667-671

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
近代京都における土地利用と地形環境	単著	2019年	環太平洋文明研究(3号)	河角直美	91-101

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Possibilities of the Spatial Humanities by Digital- archiving Old Photographs by using GIS	共同	2019年6月	Freie Universität Berlin - Kobe University - Ritsumeikan University Joint Workshop on 'Landscape and New Media in Art, Film and Theatre'	Naomi Kawasumi, Hirotaka Sato, Masahiro Kato, and Keiji Yano
Digital archiving the space and memory of Kyoto across space and time using GIS	共同	2019年7月	The 29th International Cartographic Conference and 18th General Assembly	Naomi KAWASUMI, Hirotaka SATO, Shunpei YAMAMOTO and Keiji YANO
近代京都における主要商店街の店舗復原—《祇園町》を事例とした方法の検討	共同	2019年11月	2019年人文地理学会大会	加藤政洋・河角直美

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	神田 孝治

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
現代観光学	共編著	2019年1月	新曜社	遠藤英樹・橋本和也・神田孝治編著	24-31, 32-41, 51-59, 60-62, 70-76, 210-217, 264-269

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
『Pokémon GO』が生じさせる移動と観光振興	単著	2019年3月	立命館大学人文科学研究 所紀要(119号)	神田孝治	119-147

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	金 度源

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Memory of 2015 Earthquake	共著	2020年1月	Subhash Printing Press	サキヤラタ・金度源・大窪健之	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
複合連結式天守の国宝松本城における実践的な避難誘導方法に関する研究	共著	2019年2月	日本建築学会計画系論文集(84巻756号)	小西慶哉・大窪健之・金度源	507-515
Consideration of issues and solutions related to the coexistence of cultural properties and the real life of the neighborhood	共著	2019年6月	Disaster Prevention and Management (29巻1号)	Yuko Ishida, Dowon Kim, Tatsuo Konegawa and Ryoichi Fukagawa	86-108
歴史地区におけるコミュニティの防災意識と地域特性に関する研究～京都市・上賀茂重要伝統的建造物群保存地区を対象として～	共著	2019年6月	平成31年度日本建築学会近畿支部研究報告集(59号)	仲田直矢・大窪健之・金度源	5053
温泉街の防災資源を活かした帰宅困難者対策～道後温泉周辺地域を対象として～	共著	2019年6月	平成31年度日本建築学会近畿支部研究報告集(59号)	白根史崇・大窪健之・金度源	7018
伝統的空間における震災備蓄計画に関する研究－世界遺産カトマンズ盆地・パタン地区を対象として－	共著	2019年6月	平成31年度日本建築学会近畿支部研究報告集(59号)	小川和馬・大窪健之・サキヤラタ・金度源	7024
ホース延長が可能な改良型市民消火栓の配置計画に関する基礎研究～模擬初期消火活動の実証実験と京都市清水周辺地域での改善配置計画を目指して～	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	金度源・大和田智彦・大窪健之・林倫子	131-138
松本城と周辺地域の防災拠点としての能力評価に関する研究－帰宅困難者への支援を想定して－	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	大窪健之・植本幹大・金度源	123-130
伝統的空間における震災備蓄計画に関する研究－世界遺産カトマンズ盆地・パタン地区を対象として－	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	小川和馬・大窪健之・サキヤラタ・金度源	107-114
地域コミュニティにおける水害伝承の実態－滋賀県甲賀市信楽町勅旨区を対象として－	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	林倫子・昌子知正・大窪健之・金度源	193-200
Dealing with multiple hazards and threats on cultural heritage sites: an assessment of 80 case studies	共著	2019年8月	Disaster Prevention and Management, Emerald Publishing Limited (29巻1号)	Lee Boshier, Dowon Kim, Takeyuki Okubo, Ksenia Chmutina, Rohit Jigyasu	109-128



研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
UNDERSTANDING AND COMMUNICATING RISK TO CULTURAL HERITAGE THROUGH A DISASTER IMAGINATION GAME	共著	2019年1月	SEAMEO-SPAFA, Workshop for Brunei	
歴史都市より学ぶ消防対策と防災計画：伝統的な減災の知恵と住民参加型消防計画の評価	共著	2019年2月	韓国国立文化財研究所特別セミナー	
UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management International Training Course (ITC) on Ritsumeikan University: Integrated Protection of Movable and Immoveable Cultural Heritage from Disasters	共著	2019年3月	4th Global Summit of Research Institutes for Disaster Risk Reduction Kyoto, Japan	
Capacity of the temples and shrines for using as evacuation places and shelters against the tsunami hazard: the case study for the coastal area of Muroto, Kochi-Prefecture in Japan	共著	2019年10月	ATC19 Workshop for Heritage Geotechnical Engineering	

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
京都市深草学区稲荷学区合同避難時運営訓練	単独		2019年4月 ～2019年12月
防災ワークショップ運営：歴防DIG@出石重伝建地区	単独	豊岡市教育委員会、豊岡市出石支所	2019年7月1日 ～2019年7月30日
先斗町鍋屋町防災訓練	単独		2020年1月～

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	小林 泰三

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
3次元データを活用した盛土の締固め管理手法の検討	単著	2019年8月	JACIC 情報、一般財団法人日本建設情報総合センター、第120号、Vol. 34, No.1	小林泰三	39-43
Effect on prevention of soil outflow on the back of abutment by cement soil stabilization	共著	2019年10月	Proc. of 9th Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials and Environment (GEOMATE)	Y. Ishida, S. Takayama, Y. Satofuka, T. Kobayashi and R. Fukagawa	
山間集落における住民参加型斜面計測・モニタリングシステムの構築に関する研究－福井市高須町の事例	共著	2019年11月	Kansai Geo-Symposium2019 論文集、地盤工学会関西支部	小山倫史・近藤誠司・小林泰三・芥川真一・佐藤 毅・中田勝行・下嶋一幸	
3次元測量技術を活用した土の締固め管理手法の提案	共著	2019年12月	令和元年「建設施工と建設機械シンポジウム」論文集・梗概集、建設機械施工協会	小林泰三・土佐信一・西川 祐矢・池永太一	109-112

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
災害調査報告書：平成30年7月豪雨による地盤災害調査報告書（福井県嶺北地域）	共同	公益社団法人福井県建設技術公社	2019

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部	教授	桜井 政成

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Globalizing Welfare: An Evolving Asian-european Dialogue	共著	2019年9月	Edward Elgar Pub	Edited by Stein Kuhnle, Per Selle, Sven E. O. Hort Contributors: J.G. Andersen, H.K. Anheier, R.K.H Chan, L. Chen, R. Ervik, S. Hort, M. Kamikubo, P. Kettunen, N. Kildal, S. Kuhnle, H.-j. Kwon, M. Laperrière, S. Leibfried, T.S. Lindén, Å. Lundqvist, K. Martens, C. Offe, A.S. Orloff, Y. Otsuka, Y. Pan, K. Petersen, Y. Ren, M. Sakurai, U. Schimank, P. Selle, K. Strømsnes, Z. Wang, N. Zakharov	125-141

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
豪雨災害におけるボランティアの動向— 発災からのトレンド分析から—	単著	2019年4月	環境技術 (48巻4号)	桜井政成	190-194
サービスラーニングによる地域課題解決 への貢献	単著	2019年9月	調査研究情報誌 ECPR (43巻1号)	桜井政成	32-37
Why did the new NPO corporations diffuse? Reason for the increasing social economy organizations in Japan	単著	2019年11月	7th EMES Selected Conference Papers (ESCP-7EMES-15巻)	Masanari Sakurai	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Why Did the New NPO Corporations Diffuse? Reason for the Increasing Social Economy Organizations in Japan	単独	2019年1月	Seoul National University Asia Center Special Lecture	Masanari Sakurai
災害ボランティアセンターにおける需給 調整課題—大阪北部地震における茨木市 事例—	共同	2019年3月	第5回震災問題研究交流会	佐村河内力・桜井政成

Are disaster volunteers insufficient? An analysis of the volunteer coordination cases of flood disaster affected areas in Japan	単独	2019年7月	ISTR Asia - Pacific Regional Conference	Masanari Sakurai
Why did the new NPO corporations diffuse? Reason for the increasing social economy organizations in Japan	単独	2019年7月	7th EMES International Research Conference on Social Enterprise	Masanari Sakurai
サービスマーケティングが地域にもたらす効 果：文献レビューによるモデル化	単独	2019年11月	日本福祉教育・ボランティア学 習学会第25回大会	桜井政成

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
「災害に特化 NPO 誕生」（インタビュー記事）	単独	毎日新聞（全国版 2面）	2019年1月10日～

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	助教	佐藤 弘隆

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
祇園祭の山鉾行事を支える現代京都の都市機能—祭礼とまちづくりの関係を問い直す—(山田浩之・赤崎盛久編著『京都から考える都市文化政策とまちづくり—伝統と革命の共存—』)	分担執筆	2019年11月	ミネルヴァ書房	佐藤弘隆	72-92

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
京町家の空き家の現状と課題	共著	2019年3月	統計(70巻2号)	矢野桂司・佐藤弘隆	9-15

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
近代京都における借家実態と祭礼運営—祇園祭の山鉾町を事例に—	単著	2019年3月	日本地理学会2019年春季学術大会	佐藤弘隆
Giga-pixel multispectral imaging using commercially available digital camera	共著	2019年9月	ICOM international committee for Documentation 2019	Masaru Tsuchida, Hiroataka Sato, Takahito Kawanishi, Kunio Kashino, and Keiji Yano
High resolution image retrieval, browsing and visual guide system for museum using smartphone	共著	2019年9月	ICOM international committee for Documentation 2019	Masaru Tsuchida, Hiroataka Sato, Satoshi Imamura, Takahito Kawanishi, Kunio Kashino, and Keiji Yano
城下町祭礼を支える現代都市の機能—愛知県犬山市を事例に—	単著	2019年11月	2019年人文地理学会大会	佐藤弘隆

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日		
所属	職名	氏名	
理工学部	教授	里深 好文	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
水理公式集 [2018年版]	分担執筆	2019年3月	丸善出版(株)	土木学会 水工学委員会 水理公式集編集小委員会	255-260, 265-266

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
LP データを用いた一次元解析データ作成手法提案—地形形状と溪流幅の影響—	共著	2019年1月	砂防学会誌(71巻5号)	梶山敦司・和田孝志・里深好文	24-31
土砂流入災害をもたらす降雨の空間分布特性と降雨モニタリングに関する研究	共著	2019年3月	土木学会論文集 B1(水工学) (75巻1号)	森泰樹・佐々木良・藤井昌隆・杉山友康・里深好文	1-14
線路への小規模土砂流入の危険度評価手法に関する研究	共著	2019年3月	土木学会論文集 B1(水工学) (75巻1号)	森泰樹・藤井昌隆・杉山友康・里深好文	31-48
噴火後20年を経過した雲仙普賢岳の火砕流堆積斜面における土石流発生を助長する地形・地質的条件	共著	2019年5月	砂防学会誌(72巻1号)	平川泰之・岡野和行・植野利康・里深好文・堤大三・宮田秀介	21-31
雲仙普賢岳・炭酸谷における土石流発生源への降雨流出応答	共著	2019年9月	砂防学会誌(72巻3号)	平川泰之・岡野和行・武石久佳・植野利康・里深好文	19-26
土砂災害警戒区域内の住宅地における土石流の危険度分布の検討	共著	2019年11月	土木学会論文集 B1(水工学) (75巻2号)	長谷川祐治・中谷加奈・海堀正博・里深好文	I_181- I_186
進行性崩壊による天然ダム決壊過程に関する現地実験	共著	2019年11月	土木学会論文集 B1(水工学) (75巻2号)	高山翔揮・星山博紀・宮田秀介・藤本将光・里深好文	I_847- I_852

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
SLOPE FAILURE RISK ASSESSMENT MODELING USING TOPOGRAPHIC DATA AND NUMERICAL CALCULATION OF SOIL CONSERVATION BY TREE ROOT SYSTEMS	共著	2019年6月	ISPRS Annals of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences	Taiki Mori, Tomoyasu Sugiyama, Ikuya Hosooka, Makoto Nakata, Kazuyuki Okano, Yoshifumi Satofuka
Slope Failure risk assessment modeling using topographic data and numerical calculation of soil conservation by tree root systems	共著	2019年6月	ISPRS Annals of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences	Taiki Mori, Tomoyasu Sugiyama, Ikuya Hosooka, Makoto Nakata, Kazuyuki Okano, Yoshifumi Satofuka
Woody debris blocking conditions at bridges in mountainous streams	共著	2019年6月	Debris-Flow Hazards Mitigation	Hasegawa, Y., Nakatani, K., Satofuka, Y.

Flume experiment on the influence of particle size distribution on sediment capturing efficiency of open-type steel Sabo dams	共著	2019年6月	Debris-Flow Hazards Mitigation	Matsumoto, N., Uchida, T., Sakurai, W., Matsubara, T., Okuyama, R., Hina, J., Satofuka, Y.
Debris-flow behavior containing fine sediment considering phase shift	共著	2019年6月	Debris-Flow Hazards Mitigation	Nakatani, K., Hasegawa, Y., Asano, Y., Satofuka, Y.
Numerical simulation for evaluating the phase-shift on fine sediment in stony debris flows	共著	2019年6月	Debris-Flow Hazards Mitigation	Uchida, T., Nishiguchi, Y., McArdell, B., Satofuka, Y.
Steel stakes to capture debris-wood on an impermeable type sabo dam	共著	2019年6月	Debris-Flow Hazards Mitigation	Harada, N., Satofuka, Y.

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	鈴木 祥之

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
旧加悦町役場庁舎耐震改修検討委員会報告書 - 旧加悦町役場庁舎の利活用と改修に関する調査研究報告書 -	編著	2019年3月		旧加悦町役場庁舎耐震改修検討委員会	全頁 420
伝統的構法のための木造耐震設計法 - 石場建てを含む木造建築物の耐震設計・耐震補強マニュアル -	編著	2019年6月	学芸出版社	伝統的構法木造建築物設計マニュアル編集委員会	全頁 350
伝統的木造建築物の構造解析とこれからの木造建築の展望 (新たな耐震計算法の解説を中心として)	共著	2019年6月	特定非営利活動法人伝統木構造の会	鈴木祥之・長瀬 正	全頁 51
「伝統的構法のための木造耐震設計法」出版報告講演会 (京都)	共著	2019年8月	特定非営利活動法人緑の列島ネットワーク・伝統的構法木造建築物設計マニュアル編集委員会	鈴木祥之・齋藤幸雄・長瀬正・寺門宏之・中治弘行・後藤正美・佐藤英祐・向坊恭介	全頁 54

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
木材載荷ブロックを用いた伝統木造T字型仕口の回転めり込み特性と定式化	共著	2019年2月	日本建築学会構造系論文集 (84巻756号)	棚橋秀光・鈴木祥之	227-236
伝統構法木造～耐震設計・耐震補強設計～	単著	2019年2月	建築と社会 (100巻1163号)	鈴木祥之	46-47
石場建てを含む伝統的構法木造建築物の耐震設計法・耐震補強設計法	単著	2019年5月	伝木 (39巻)	鈴木祥之	3-7
壁土の強度試験法の開発と壁土の強度特性	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集 (13巻)	山田耕司・中治弘行・後藤正美・鈴木祥之	61-68
土塗り壁の耐力を用いた土塗り小壁の骨格曲線の再評価	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集 (13巻)	山田耕司・中治弘行・長瀬正・鈴木祥之	209-214
伝統木造仕口の回転めり込み反力分布についての考察	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集 (13巻)	棚橋秀光・鈴木祥之	83-90
3次元立体解析モデルを用いた旧加悦町役場庁舎の耐震性能評価に関する研究	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集 (13巻)	浅野陽彦・吉富信太・中治弘行・須田達・向坊恭介・佐藤英祐・鈴木祥之	15-22
与謝野町旧加悦町役場の基礎と外壁の実地調査と材料試験	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集 (13巻)	須田達・浦憲親・鈴木祥之	69-76



その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
伝統的木造建築物の構造解析とこれからの木造建築の展望〈新たな耐震計算法の解説を中心として〉	共同	東京都角筈区民ホール	2019年6月15日 ～2019年6月15日
伝統的構法のための木造耐震設計法出版報告講演会（京都）	共同	キャンパスプラザ京都 第1講義室	2019年8月9日 ～2019年8月9日

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	高橋 学

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
環境史・土地開発史・災害史からみた災害発生メカニズム	単著	2019年	環太平洋文明研究3	高橋学	1-22
遺跡立地分析のための地形分類図の限界	単著	2019年	考古学ジャーナル723	高橋学	巻頭言
環境史からみた島嶼の災害リスクマネージメント	単著	2019年	月刊地球482、海洋出版	高橋学	644-651

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
環境考古学からみた荒尾南遺跡	単著	2020年1月	荒尾南遺跡研究会、大垣市サイトピア	高橋学
荒尾南遺跡からみた災害史	単著	2020年2月	考古学研究会東海例会、大垣市文化ホール	高橋学

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	武田 史朗

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
公園デザイン様式「ストックホルムスタイル」の特徴と確立の経緯	共著	2019年	2019年度日本建築学会 近畿支部研究発表会	村田明子・武田史朗
農とレクリエーションを取り入れたエコロジカルインフラストラクチャの提案 岡山における流域空間デザイン	共著	2019年9月	2019年度 日本建築学会大会(北陸) (デザイン発表会)	松田麗央・ウェンティン安・村田明子・武田史朗
自転車交通空間の再編による居場所としての駅空間の計画 淡路駅および周辺地域を対象として	共著	2019年9月	2019年度 日本建築学会大会(北陸) (デザイン発表会)	村田優美子・村田明子・武田史朗
東山慈照寺庭園における遮蔽緑分析とおした展示空間設計手法の提案	共著	2019年9月	2019年度 日本建築学会大会(北陸) (デザイン発表会)	山中梢子・村田明子・武田史朗
公民学間連携施設によるびわこ文化公園都市の再編成	共著	2019年9月	2019年度 日本建築学会大会(北陸) (デザイン発表会)	松宮周平・村田明子・武田史朗

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部	准教授	豊田 祐輔

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
A Study on Gaming of Participatory Evacuation Planning in Tourist Area using Agent Simulation, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwathana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) "Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning"	共著	2019年	Springer Science Business Media	Sakai Kohei, Shimizu Hiroari, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	247-256
Gaming Simulation as a Tool of Problem-based Learning for University Disaster Education, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwathana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) "Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning"	共著	2019年	Springer, Singapore	Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	237-245
「コミュニティ防災ゲーミング:地震編」でコミュニティ防災を体験しよう!」「ゲームの構造、役割、ルールを考えてゲーミングをつくる!」近藤敦、豊田祐輔、宮脇昇、吉永潤編『大学の学びを変えるゲーミング』	共編著	2020年	晃洋書房	豊田祐輔	40-62, 169-180, 206-20

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
PBL型短期間国際ワークショップによる社会人基礎力成長モデルに関する研究	単著	2019年3月	地域情報研究-立命館大学地域情報研究所紀要-(8号)	豊田祐輔	98-109
Integration Process of Indigenous and Scientific Knowledge for Disaster Risk Reduction in Mentawai Island	共著	2019年7月	International Journal of Disaster Management(2巻1号)	Zulfadrim, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	1-12
A Framework of Simulation and Gaming for Enhancing Community Resilience against Large-scale Earthquakes: Application for Achievements in Japan	単著	2020年1月	Simulation & Gaming (forthcoming 巻)	Toyoda Yusuke	(Online First, 32p)
Analysis of Technology Impact on Culture in Indigenous Community: Case Study of Mentawai Island	共著	2020年	Selected Paper of the 2nd South East Asian Academic Forum on Sustainable Development (SEA-AFSID) 2018	Zulfadrim, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	forthcoming

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
地域防災行動促進に向けた避難協力ゲーミングの学習効果に関する研究：被災前後の個人の道具生に着目した防災学習手法の検討	共著	2019年5月	日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集 2019年春号	留野僚也・清水泰有・豊田祐輔・小野聡
Gaming Simulation for Managing Stranded Persons and Residents around Terminal Stations after Large-Scale Earthquakes	共著	2019年8月	"50th Conference of the International Simulation and Gaming Association"	Toyoda Yusuke, Sakai Kohei and Kanegae Hidehiko
個人の地域防災行動意図における社会的手抜きの特徴に関する研究－個人の地域防災組織に対する信頼に着目して	共著	2019年9月	『日本地域学会第57回年次大会学術発表論文集』(Webpage)	留野僚也・豊田祐輔・鐘ヶ江秀彦
Gaming Simulation for Community-Based Disaster Risk Reduction: Disaster Education Tool to Increase Earthquake Coping Capacity of School Students in Malaysia	共著	2019年11月	日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集 2019年秋号、10-17頁	Mohd Hermy bin Abdullah・豊田祐輔

その他研究活動				
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)	
密集市街地における地域防災のすすめ	単独	『豊中市島田公民分館地域出前講座』豊中市共同利用施設島田センター、豊中市	2019年2月24日～2019年2月24日	
地域における防災学習への取り組み	単独	『摂津市生涯学習合同研修会』摂津市	2019年3月4日～2019年3月4日	
防災ゲーム～防災について楽しく学ぼう～(大阪府土木事務所共同)	共同	いばらき×立命館 DAY2018(立命館大学主催)	2019年5月19日～2019年5月19日	
Challenges of Increasing Disaster Awareness of Foreign Tourists	単独	"IPRO (Interprofessional Project) 497-313 (course provided by Illinois Institute of Technology" Ritsumeikan University, Ritsumeikan University, in Osaka	2019年6月11日～2019年6月11日	
クロストーク参加	共同	OIC キャンパス事務局『災害に強いキャンパスを創るミニシンポジウム：そなえるキャンパス』、立命館大学大阪いばらきキャンパス、茨木市、大阪	2019年6月18日～2019年6月18日	
Academic System Which Links to City Development	単独	Community Organizations Development Institute (CODI) "Capacity Development Program for Board of Committee and Executive Officials of CODI" Osaka Ibaraki Campus of Ritsumeikan University, Ibaraki City, Osaka	2019年7月15日～2019年7月15日	
地震のメカニズムと南海トラフ巨大地震	単独	茨木市市民活動センター『いばらき市民大学南海トラフ巨大地震：被害想定と対策について』、福祉文化会館(オークシアター)、茨木市、大阪	2019年7月19日～2019年7月19日	

立命館大学豊田ゼミでの楽しさと学びを両立させる 防災ゲーム作り（ポスター展示）	単独	NPO 法人 ROJE (Renaissance Of Japanese Education) 『防災実践交流会 2019・夏－「知る」「学ぶ」からやってみるへ』 キャンパスプラザ 京都、京都市、京都	2019年8月11日 ～2019年8月11日
防災の日に知りたい 災害増える日本の“リスク・コミュニケーション不足”問題	単独	shiRUto	2019年8月23日 ～2019年8月23日
まちの国際化と防災	単独	AsiaWeek 2019（立命館大学主催；参加者：一般市民）立命館大学大阪いばらきキャンパス、日本：大阪	2019年10月13日 ～2019年10月13日
防災ゲーム	単独	令和元年度第二回潮江東地区連合防災会フェスタ（主催：潮江東地区連合防災会；参加者：一般市民）高知市立潮江東小学校、高知	2019年11月3日 ～2019年11月3日
防災釣りゲーム	単独	令和元年度東山田地区連合自治会防災訓練（東山田地区連合自治会主催；参加者：地区内住民）吹田市立東山田小学校、大阪	2019年11月24日 ～2019年11月24日
Evaluating short-term trainings: On how to learn, how to work together and how to apply	単独	“Professional Human Resource Development IV (PHRD-IV) BAPPENAS Short-term Training on Impact Assessment” held by JICE (Japan International Cooperation Center), participated mainly by Indonesian governmental staff, Biwako-Kuwatsu Campus of Ritsumeikan University, Kusatsu City, Shiga	2019年11月25日 ～2019年11月25日
Community-based Disaster Mitigation	単独	“Disaster Management Cooperation and Planning Training: The Centre of Planners’ Development, Education and Training (CPDET), National Development Planning Agency (Bappenas) Republic of Indonesia” held by the Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage of Ritsumeikan University, participated mainly by Indonesian governmental staff, Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage of Ritsumeikan University, Kyoto City, Kyoto	2019年11月26日 ～2019年11月26日

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
情報理工学部	教授	仲谷 善雄

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Validated Animated Pictograms for the Advance Design of a Disaster Assistance Application	共著	2019年2月	IEEJ Transactions on Electronics, Information and Systems (139巻2号)	Luis Ernesto Dominguez-Rios, Tomoko Izumi, Takayoshi Kitamura and Yoshio Nakatani	170-179
Evaluation of the Aid Link Generation System for a Disaster Management Platform	共著	2019年3月	IEEJ Transactions on Electronics, Information and Systems (139巻3号)	Luis Ernesto Dominguez-Rios, Tomoko Izumi, Takayoshi Kitamura and Yoshio Nakatani	247-258
児童を対象とした振動型経路指示システムにおける振動角度と有用性の評価	共著	2019年5月	ヒューマンインタフェース学会論文誌 (21巻2号)	安井友徳・北村尊義・泉朋子・仲谷善雄	33-44

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
避難行動を誘発するためのモバイル端末上での情報表現に関する検討	共著	2019年3月	情報処理学会第81回全国大会	安井友徳・北村尊義・仲谷善雄
マルチタスク作業時の負担軽減に香りが及ぼす影響の検討	共著	2019年3月	情報処理学会第81回全国大会	永山大貴・北村尊義・仲谷善雄
Proposal of Digital Mirror Signage and AR Pictogram for Follow Me Evacuation Guidance	共著	2019年7月	21th International Conference on Human-Computer Interaction. (HCI International 2019)	Takayoshi Kitamura, Kazumi Yasui and Yoshio Nakatani
避難行動を誘発するための災害情報に関するテキスト表現の比較	共著	2019年8月	電気学会第79回情報システム研究会	安井友徳・北村尊義・泉朋子・仲谷善雄
Evaluation of a Vibration-based Route Indication for Children Who are Not Familiar with Maps	共著	2019年10月	2019 IEEE 8th Global Conference on Consumer Electronics (IEEE GCCE 2019)	Tomonori Yasui, Takayoshi Kitamura, Tomoko Izumi and Yoshio Nakatani

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)
心理を考慮したシステム設計法～認知工学的アプローチ～	単独	ヒューマンインタフェース学会第10回特別講演会 (同志社大学今出川キャンパス良心館)	2019年2月28日～2019年2月28日
安全へのレジリエンスアプローチ	単独	三菱電機技報、93巻7号	2019年7月20日～2019年7月20日

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	狭間 惠三子

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
新たな歴史文化都市・堺を目指して	共著	2019年11月	一般財団法人日本地域開発センター、『地域開発』、通巻631号	梅原利之・狭間惠三子	pp.30-34

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
まちづくりと情報発信	単独	2019 自治体学会堺大会プレ大会基調講演	2019年5月25日
歴史文化を活かした個性あるまちづくり	単独	奈良ロータリークラブ・奈良大宮ロータリークラブ合同例会	2019年10月10日



## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	准教授	花岡 和聖

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
増減(石川義孝編『地図でみる日本の外国人 改訂版』)	分担執筆	2019年1月	ナカニシヤ出版	花岡和聖	6-7

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
『歴史地名辞書データ』を用いた集落地名の地域性の可視化	単著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13巻)	花岡和聖	185-192
近年のオーストラリアにおける新規流入移民の居住地分布—オーストラリアの国勢調査資料を用いた分析—	単著	2020年3月	立命館文學	花岡和聖	印刷中

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月(西暦可)
日本ヒートアイランド学会	日本ヒートアイランド学会論文賞		2019年6月

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日		
所属	職名	氏名	
理工学部	教授	平尾 和洋	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
京都市正親学区の事前復興計画を想定した建築物の類型化及び延焼シミュレーションと防火連担長屋の提案	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集 (vol.13巻)	小玉寧人・平尾和洋	115-122
京都市西陣地区の事前復興計画を想定した街並みエレメント選定及びそれを用いた街並み構成法の比較	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集 (報告) (vol.13巻)	遠藤直久・西村祐香・平尾和洋	215-222

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
デザイン行為におけるヤヌス的思考のカプセル化に着目した発想・設計支援ツールの作成とその有効性に関する省察	共著	2019年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第59号	小林稜治・坂下太一・遠藤直久・平尾和洋
建築設計プロセスにおける対話の中の省察に関する考察その2	共著	2019年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第59号	遠藤直久・奥浩・平尾和洋
建築設計プロセスにおける対話の中の省察に関する考察その1	共著	2019年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第59号	斎藤翔太・奥浩・遠藤直久・平尾和洋
京都市正親学区の事前復興計画を想定した建築物の類型化及び延焼シミュレーションと防火連担長屋の提案	共著	2019年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第59号	田中勇氣・小玉寧人・平尾和洋
京都市西陣地区の事前復興計画を想定した街並みエレメントの選定及びそれを用いた街並み構成の評価	共著	2019年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第59号	内貴美侑・西村祐香・遠藤直久・平尾和洋
建築設計プロセスにおける対話の中の省察に関する考察その2	共著	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	山崎良祐・奥浩・遠藤直久・平尾和洋
建築設計プロセスにおける対話の中の省察に関する考察その1	共著	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	川上樹・奥浩・遠藤直久・平尾和洋
デザイン行為におけるヤヌス的思考のカプセル化に着目した発想・設計支援ツールの作成とその有効性に関する考察	共著	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	山本琴乃・坂下太一・遠藤直久・平尾和洋
京都市西陣地区の事前復興計画を想定した街並みエレメントの選定及びそれを用いた街並み構成の評価	共著	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	三輪晋也・西村祐香・平尾和洋・遠藤直久
京都市正親学区の事前復興計画を想定した建築物の類型化及び延焼シミュレーションと防火連担長屋の提案	共著	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	中村魁・小玉寧人・平尾和洋・遠藤直久

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
心齋橋阿伝	共同	建築と社会 No.1163	2019年2月～

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	深川 良一

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Consideration of issues and solutions related to the coexistence of cultural properties and the real life of the neighborhood	共著	2019年5月	Emerald insight, Disaster Prevention and Management, Vol. 29, No. 1.	Yuko Ishida・Dowon Kim・Tatsuo Konegawa・Ryoichi Fukagawa	pp. 86-108
Liquefaction analysis of verification on the influence of underground structure	共著	2019年6月	Int. J. of GEOMATE, Vol.16, Issue 58	Keita Sugito, Tetsuya Okano and Ryoichi Fukagawa	pp.104-109
Calculation formula for pullout resistance exerted by open-wing-type ground anchor	共著	2019年6月	Int. J. of GEOMATE, Vol.16, Issue 58	Kota Kono, Akihisa Nakahashi and Ryoichi Fukagawa	pp.110-115
Investigation of cylindrical specimen collapse behavior on the experiment and 3D smoothed-particle hydrodynamic analysis	共著	2019年6月	Int. J. of GEOMATE, Vol.16, Issue 58	Tetsuya Okano, Yukiko Sumi, Tsutomu Matsuo and Ryoichi Fukagawa	pp.117-122
熊野参詣道伊勢路「横垣峠」を対象とした観光防災マップの作製	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集 [報告]、Vol.13	石田優子・今村聡・古根川 竜夫・深川良一・中谷友樹	pp.245-252
Effect of prevention of soil outflow on the back of abutment by cement soil stabilization,	共著	2019年11月	Proc. of the 9th Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Yuko Ishida, Shoki Takayama, Kazuyuki Izuno, Yoshifumi Satofuka, Taizo Kobayashi and Ryoichi Fukagawa	pp.1-7
拡翼アンカー工法の開発に関する基礎的研究	共著	2019年11月	Kansai Geo-Symposium 2019 論文集, (公社)地盤工学会関西支部	部谷遼平・河野恒太・灘とも子・小林泰三・深川良一	4頁

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
斜面多点監視を可能にする省電力低価格な傾斜感知器の開発	共著	2019年7月	公益社団法人地盤工学会、第54回地盤工学研究発表会概要集	石田優子・平岡伸隆・繁田知美・深川良一

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
弾性体を利用した孔内載荷試験装置					特許第2571419号	

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	福水 洋平

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Improved Face Image Super-resolution with Restricted Patch-searching Area	共著	2019年1月	Proceedings of 4th International Conference of Multimedia and Image Processing	S. Hamdan, Y. Fukumizu, T. Izumi, and H. Yamauchi	184-190
Illuminance-robust semipermanent 2D porous code	共著	2019年1月	Proceedings of International Conference on Electronics, Information, and Communication	K. Kimura, A. Ohashi, Y. Fukumizu, T. Douseki	
Example-based Face-image Restoration for Block-noise Reduction	共著	2019年3月	Proceedings of 3rd International Conference on Frontiers of Image Processing	S. Hamdan, Y. Fukumizu, T. Izumi, and H. Yamauchi	
Example-based Face-image Restoration for Block-noise Reduction	共著	2019年3月	Journal of Image and Graphics (7巻1号)	Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi, Hironori Yamauchi	9-17

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Improved Face Image Super-resolution with Restricted Patch-searching Area	共著	2019年1月	The 4th International Conference on Multimedia and Image Processing	S. Hamdan, Y. Fukumizu, T. Izumi, H. Yamauchi
Illuminance-robust semipermanent 2D porous code	共著	2019年1月	International Conference on Electronics, Information, and Communication 2019	K. Kimura, A. Ohashi, Y. Fukumizu, T. Douseki
Example-based Face-image Restoration for Block-noise Reduction	共著	2019年3月	The 3rd International Conference on Frontiers of Image Processing	S. Hamdan, Y. Fukumizu, T. Izumi, H. Yamauchi

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	福山 智子

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Basic Study on Corrosion Progression in High Nickel Weathering Steel by Simulated Liquid Test	共著	2019年7月	日本コンクリート工学会年次論文集	Emel Ken BENITO・上野敦・福山智子	
断面修復コンクリートにおける水分移動に関する実験的研究	共著	2019年7月	日本コンクリート工学会年次論文集	金侖美・千歩修・谷口誠・福山智子	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
セルフセンシング構造物への適用を指向したカーボンナノチューブ混和セメントペーストの基礎的物性	共著	2019年9月	日本建築学会年次大会	森井智月・福山智子・山田悠二
片面吸水凍結融解試験による断面修復コンクリートの付着強度変化	共著	2019年9月	日本建築学会年次大会	金侖美・千歩修・谷口誠・福山智子
電気化学ノイズ測定によるコンクリート中の鉄筋の腐食開始検出	共著	2019年9月	日本建築学会年次大会	池沢樹・金侖美・福山智子・康田雄太・川崎佑磨
塩水片面吸水凍結融解試験を行った断面修復コンクリートの修復界面における水分移動性状	共著	2019年9月	日本建築学会年次大会	前中郁哉・金侖美・千歩修・谷口誠・福山智子
プレストレストコンクリートの誘電緩和測定を利用した欠陥の検出に関する電極配置の影響	共著	2019年9月	日本建築学会年次大会	福山智子・金侖美・佐光正和・牛渡裕二・川瀬良司
凍害劣化程度の異なるコンクリートおよび断面修復材の温度変化によるひずみ変化	共著	2019年5月	セメント技術大会	金侖美・千歩修・谷口誠・福山智子

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	助教	藤井 健史

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
丸亀城の天守および石垣の見え方に関する定量的分析：景観的被害を加味した文化財防災の検討に向けて	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集（13巻）	藤井健史・藤井美佳	139-146
駅から街に出る際のシークエンス景観における景観構成要素の可視率と開放度に関する研究	共著	2019年12月	第42回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集	藤井健史・東山昂平	298-301
GPGPUを用いた交差判定式全方位可視率計算の超高速化－緑視率計算と植栽計画指標検討への応用－	共著	掲載決定	日本建築学会技術報告集（巻未定）	藤井健史・山田悟史	頁未定

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
丸亀城周辺街路における天守および石垣の見え方に関する定量的考察	単著	2019年9月	日本建築学会大会（北陸）学術講演会	藤井健史
道端の空奏ジャズ文化発信のための演奏拠点	共著	2019年9月	日本建築学会大会（北陸）デザイン発表会	原田陽介・藤井健史・及川清昭
境界をほどく器 スポーツ・地域・環境がひとつながりに溶け合うスタジアムパーク	共著	2019年9月	日本建築学会大会（北陸）デザイン発表会	隅谷悠貴・藤井健史
「草津の魅力」を再発見！～草津市内に点在する歴史資産を繋ぐ保存・活用手法の提案～	共著	2019年11月	環びわこ大学・地域コンソーシアム・大学地域交流フェスタ2019	藤井健史・青柳憲昌・及川清昭・草津市教育委員会歴史文化財課

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
草津いいもの探しツアーを考えよう！～「歩いて巡りたくなる地域のアイデア」をバス+徒歩で実現可能に	共同	令和元年度第6回アーバンデザインセミナー，アーバンデザインセンターびわこくさつ	2019年9月20日
「くさつ歴史健幸散策」のための路面標示デザインの提案－草津の歴史に思いを馳せる歩行者ネットワークの形成に向けて－	単独	UDCBK 社会実験準備事業	2019年6月21日～2020年2月28日

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	藤本 将光

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
斜面基礎補強時における網状鉄筋工の有効的な設置方法に関する基礎的研究	共著	2019年11月	Kansai Geo-Symposium 2019 論文集	藤本将光・原田紹臣・山本和輝・高瀬蔵・玉木健太・小西成治・疋田信晴	印刷中
連続雨量に基づく通行規制・解除基準と土壌雨量指数によるその比較	共著	2019年11月	Kansai Geo-Symposium 2019 論文集	小田和広・鳥居宣之・小山倫史・小泉圭吾・藤本将光	印刷中
現地モニタリング結果を用いた土砂災害危険度評価に関する研究	共著	2019年11月	Kansai Geo-Symposium 2019 論文集	館野祐一郎・藤本将光・小山倫史・鏡原聖史・鳥居宣之	印刷中
細粒土砂の移動を考慮した急傾斜地崩壊防止施設に関する研究	共著	2019年11月	Kansai Geo-Symposium 2019 論文集	原田紹臣・藤本将光・小西成治・河野和人・水山高久	印刷中

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
現地モニタリングに基づく事前道路通行規制基準の設定に関する研究	共著	2019年5月	砂防学会研究発表会	館野祐一郎・藤本将光・鏡原聖史・鳥居宣之・小山倫史
細粒土砂の流出防止を考慮した急傾斜地崩壊防止施設における擁壁構造の提案	共著	2019年5月	砂防学会研究発表会	藤本将光・原田紹臣・小西成治・河野和人・水山高久
花崗岩山地源流域における流域界を越えた地下水流動の解析	共著	2019年5月	砂防学会研究発表会	正岡直也・小杉賢一朗・藤本将光
清水寺後背斜面における豪雨時の降雨浸透特性に関する研究	共著	2019年5月	砂防学会研究発表会	五井渉太・藤本将光・里深好文
室内実験に基づく斜面形状が崩壊現象に及ぼす影響の検討	共著	2019年5月	砂防学会研究発表会	Qinxin・里深好文・藤本将光
斜面の基礎補強時における網状鉄筋挿入工(E.P.ルートパイル工)の高度化に関する実験的研究	共著	2019年5月	砂防学会研究発表会	山本和輝・藤本将光・原田紹臣・玉木健太・高瀬蔵・小西成治・疋田信晴・里深好文
急傾斜地における崩土の衝撃力と対策に関する実験的研究	共著	2019年5月	砂防学会研究発表会	高瀬蔵・藤本将光・原田紹臣・山本和輝・玉木健太・小西成治・疋田信晴・里深好文

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法	本学共同		2015-102216			
透水試験装置および透水試験方法	本学共同		2013-193946			

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	益田 兼房

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
文化財と防災	単独	ヘリテージマネジャー養成講座，神戸市，京都市，千葉市	2010-2019年
技術発展と日本建築史	単独	日本伝統建築技術保存会木工養成研修講座，東京都	2007-2019年
パリ・ノートルダム大聖堂火災報告	単独	明日の京都文化遺産プラットフォーム・文化遺産危機管理研究会，京都市	2019年4月23日
The SUGIMOTO Residence, Kyoto, Japan, The Heritage, History, Risk Preparedness	単独	ICOM General Conference DEMHIST Meeting, 京都市	2019年9月5日
Authenticity of Cultural Heritage and Disaster Risk Preparedness	単独	2019 International Lectures for Cultural Heritage, 中国科学技術大学, 台中市, 台湾	2019年10月1日
首里城火災と文化遺産の価値・Authenticity とは	単独	明日の京都文化遺産プラットフォーム・文化遺産危機管理研究会，京都市	2019年11月26日



## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日		
所属	職名	氏名	
理工学部	教授	宗本 晋作	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
HANS VILLA	共著	2019年10月	Architecture & Culture 461	Shinsaku Munemoto +SMA Korea +CTA (Local Architect)	pp.52-57
移動コストを考慮した街路ネットワークの媒介中心性分析	共著	2019年12月	第42回情報・システム・利用・技術シンポジウム	北本英里子・山田悟史・宗本晋作・及川清昭	6頁

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
注視傾向に基づく点群を用いた街路の色彩の定量分析に関する研究	共著	2019年6月	令和元年度(2019年度)日本建築学会近畿支部研究発表会	○藤井理央・宗本晋作・山田悟史
注視傾向に基づく点群を用いた街路の色彩の定量分析に関する研究	共著	2019年9月	2019年度日本建築学会大会 学術講演会	○藤井理央・宗本晋作・山田悟史
H house	単独	2019年11月	2019 BUGAIK International Architecture Exhibition	Shinsaku Munemoto

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
エコプロ2019立命館大学展示会場	共同	東京ビッグサイト	2019年12月5~7日

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月(西暦可)
韓国建築家協会	2019年大韓民国慶尚北道建築大展招待作家賞(最優秀)	H HOUSE	2019年10月

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	准教授	村中 亮夫

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
自助・共助のための防災マップ作成ワークショップの実践と課題—北海道石狩市における水害・土砂災害を事例として—	共著	2019年7月	地理科学 (74巻2号)	村中亮夫・浅妻裕・谷端郷・米島万有子・高橋伸幸	70-89
Strengths of Exaggerated Tsunami-Originated Placenames: Disaster Subculture in Sanriku Coast, Japan	共著	2019年9月	ISPRS International Journal of Geo-Information (8巻10号)	Yuzuru Isoda, Akio Muranaka, Go Tanibata, Kazumasa Hanaoka, Junzo Ohmura and Akihiro Tsukamoto	18 pages (Open Access Journal)

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	持田 泰秀

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
新素材で建設産業を立て直す～新材料(CFRTP)の挑戦を通して～	分担執筆	2019年10月	日本建築協会		12-15

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
DEVELOPMENT OF CARBON FIBER REINFORCED THERMOPLASTIC STRAND ROD	共著	2019年4月	International Journal of GEOMATE (16巻57号)	Yasuhide Mochida, Yusuke Imoto	109-115
文化遺産の免震レトロフィット化に関する研究：仮受け鋼管杭を用いる工事の工程管理について	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集(13号)	伊原大貴・持田泰秀・包学文	1-6
日本のプレキャストコンクリートの普及に関する研究 - 日本の集合住宅や韓国・アメリカの現状を通して -	共著	2019年7月	第35回建築生産シンポジウム	伊原大貴・持田泰秀	
STUDY ON STRENGTH ESTIMATION OF SOIL CEMENT USED IN THE EMBEDDED PILE METHOD BY ELECTRICAL RESISTIVITY MEASUREMENT	共著	2019年8月	International Journal of GEOMATE (17巻59号)	Yasuhide Mochida, Masato Matsuura	74-81
緊張力を導入する建築物の構造上の有効性に関する研究 - 熱可塑性樹脂を用いた炭素繊維複合材の活用 -	共著	2019年11月	第13回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム	北川貴大・持田泰秀・櫻井祥人	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Study on Unit Price of Temporary Supporting Method for Seismic Isolation Retrofit	共著	2019年2月	The International Conference on Engineering and Applied Sciences	Daiki Ihara, Yasuhide Mochida
Study on Eco Recycling of Construction Sludge for Production of Improved Soil	共著	2019年6月	The 2019 International Conference on Structure and Civil Engineering Research (ICSCER 2019), Prague- Czech Republic	Yasuhide Mochida, Joshua O. Ogunbiyi
重曹添加のセメントミルクのブリーディングと圧縮強度に関する研究—ブリーディング低減と電気比抵抗による強度予測—	共著	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	持田泰秀・伊原大貴・松本洋・角田和明

電気比抵抗調査による流動化処理地盤改良工法における品質管理に関する研究流動化処理の完了管理値への適用	共著	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	持田泰秀・須々田幸治
プレキャストコンクリートの表層性能に関する実験的研究 その1 表層透気試験の結果について	共著	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	新城智己・持田泰秀・坂田博史
プレキャストコンクリートの表層性能に関する実験的研究 その2 表面吸水試験、電気抵抗率試験の結果について	共著	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	北川貴大・持田泰秀・坂田博史
浮上りを考慮した基礎の設計法に関する研究 -回転角を考慮した略算法（修正梁理論）の取り組み-	共著	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	峯本真・持田泰秀・植田謙三
STUDY ON THE PROPERTIES OF CEMENT MILK ADDED WITH BAKING SODA -COMPRESSION STRENGTH ESTIMATION FROM BLEEDING REDUCTION AND INITIAL ELECTRICAL RESISTIVITY-	共著	2019年11月	The Fifth International Conference on Science, Engineering & Environment, Bangkok	Yasuhide Mochida, Joshua O. Ogunbiyi, and Makoto Minemoto

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	矢野 桂司

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
文化情報学辞典	編集	2019年	勉誠出版	村上征勝 監修／金明哲・ 小木曾智信・中園聡・矢野 桂司・赤間亮・阪田真己子・ 宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺 美智子・足立浩平 編	
Urban Abandonment and Housing Vacancies in Japanese Local Cities: A Case of Kyo-machiya, Traditional Wooden Town Houses	分担執筆	2019年	Kubo, Tomoko, Yui, Yoshimichi (Eds.) The Rise in Vacant Housing in Post-growth Japan Housing Market, Urban Policy, and Revitalizing Aging Cities, Springer	Keiji Yano	111-122
The Shape of Japan: Backgrounds, Materials and Methods	共著	2019年	Editors: Nakaya, Tomoki, Ito, Yuri (Eds.) The Atlas of Health Inequalities in Japan	Tomoki Nakaya, Keisuke Fukui, Yuri Ito, Keiji Yano, Yuzuru Isoda, and Naoki Kondo, Springer	9-28

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
京町家の空き家の現状と課題	共著	2019年3月	統計 (70巻2号)	矢野桂司・佐藤弘隆 (2019)	9-15
はいめに 特集 地理総合と歴史総合—何が変わるのか、どう向き合うのか—。	単著	2019年11月	学術の動向 (11号)	矢野桂司	
Japanese Lexical Variation Explained by Historical Contact Patterns	共著	2019年	ISPRS International Journal of Geo-Information (8巻9号)	Péter Jeszenszky, Yoshinobu Hikosaka, Satoshi Imamura, Keiji Yano	
Transparent Collision Visualization of Point Clouds Acquired by Laser Scanning	共著	2019年	ISPRS International Journal of Geo-Information (8巻9号)	Authors: Weite Li, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Motoaki Adachi, Keiji Yano, Satoshi Tanaka	
地理教育とGIS	単著	2019年	東海地理 (56巻)	矢野桂司	1-6
書評：スマホとPCで見るはじめてのGIS—「地理総合」でGISをどう使うか— 時枝稜・木村圭司著	単著	2019年	地図情報 (39巻3号)	矢野桂司	
【書評】平井松午／編『近世城下絵図の景観分析・GIS分析』古今書院	単著	2019年	GIS-理論と応用 (27巻1号)	矢野桂司	56-58

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
地理教育とGIS	単著	2019年1月	第420回例会	矢野桂司

バーチャル京都から見る三条通の景観変遷	単著	2019年1月	第42回まちカフェ	矢野桂司
Geodesign in depopulation area: Yosano Town, Japan	共著	2019年2月	International Geodesign Collaboration 2019	Kazumasa Hanaoka and Keiji Yano
歴史GISと新しい地理教育	単著	2019年3月	GIS day in 関西 2019	矢野桂司
Historical paths of contact and isolation explain lexical variation in Japanese dialects	共著	2019年3月	日本地理学会春季学術大会	Péter Jeszenszky*, Keiji Yano, Yoshinobu Hikosaka
公開シンポジウム「地理総合」で何がかわるのか	共著	2019年3月	公開シンポジウム「地理総合」で何がかわるのか	矢野桂司・井田仁康・秋本弘章・浅川俊夫・久保純子
地方自治体は地理空間情報の宝庫：産官学連携の連携方法	単著	2019年7月	PasCAL ユーザー会 In 関西 テーマ「空間情報の流通による行政の新たな役割～働き方改革の実現に向けて～」	矢野桂司
Japanese Map Warper for Spatial Humanities: The Japanese old maps portal site	共著	2019年7月	International Cartographic Conference 2019 Tokyo	Keiji Yano, Satoshi Imamura, Ryo Kamata
Digital archiving the space and memory of Kyoto across space and time using GIS	共著	2019年7月	International Cartographic Conference 2019 Tokyo	Naomi Kawasumi, Hiroataka Sato, Shunpei Yamamoto, Keiji Yano
Lexical variation in Japanese dialects revisited: Geostatistic and dialectometric analysis	共著	2019年7月	International Cartographic Conference 2019 Tokyo	Péter Jeszenszky, Yoshinobu Hikosaka, Keiji Yano
Learning Method that Facilitates User Understanding of Changes in the Kyoto Townscape: Utilizing a Smartphone Application with the Kyoto City Tram and Bus Photograph Database	共著	2019年7月	International Cartographic Conference 2019 Tokyo	Akira Takahashi, Shumpei Yamamoto, Hiroataka Sato, Naomi Kawasumi, Manabu Inoue, Keiji Yano, Asanobu Kitamoto
Giga-pixel multispectral imaging using commercially available digital camera	共著	2019年9月	ICOM Kyoto 2019	Masaru Tsuchida, Hiroataka Sato, Takahito Kawanishi, Kunio Kashino, and Keiji Yano
High resolution image retrieval, browsing and visual guide system for museum using smartphone	共著	2019年9月	ICOM Kyoto 2019	Masaru Tsuchida, Hiroataka Sato, Satoshi Imamura, Takahito Kawanishi, Kunio Kashino, and Keiji Yano
日本の古地図のポータルサイトの構築	単著	2019年9月	地図展 2019 京都「近代京都150年を俯瞰する」	矢野桂司
京都地籍図データベースを用いた明治末期土地所有者の点分布分析	共著	2019年10月	第28回第28回学術研究発表大会	青木和人・矢野桂司・武田幸司
日本の古地図のポータルサイトの構築	共著	2019年10月	第28回第28回学術研究発表大会	今村聡・鎌田遼・矢野桂司
Visual Plant Simulation based on Transparent Collision Visualization of 3D Scanned Point Clouds	共著	2019年11月	The 38th JSST Annual International Conference on Simulation Technology	Weite Li, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Keiji Yano, Satoshi Tanaka and Motoaki Adachi
人文学における地理空間情報の可視化	単著	2019年12月	じんもんこん 2019 公開シンポジウム 科学的知見の創出に資する可視化 (3) : 新しい文理融合研究を創出する可視化	矢野桂司

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
地理情報システム学会	2019年度ポスターセッション賞	青木和人, 矢野桂司, 武田幸司「京都地籍図データベースを用いた明治末期土地所有者の点分布分析」	2019年10月

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	山崎 有恒

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
人物からたどる近代日中関係史	共著	2019年6月	国書刊行会	池田 維他編	pp255- 271

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	講師	山田 悟史

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
A study on the formation of environmental recognition by dwelling unit location and residential floor in collective housing in a super-high-rise building	共著	2019年3月	Japan Architectural Review (2巻1号)	Shichun Zong, Hiroto Ohuchi, Toshihiro Kimura and Satoshi Yamada	
Deep Learningを用いた印象評価推定AIの作成と検証 - 街並み画像の街路名と訪問意欲を対象に -	共著	2019年5月	日本建築学会計画系論文集 (84巻759号)	山田悟史・大野耕太郎	1323-1331
移動コストを考慮した街路ネットワークの媒介中心性分析	共著	2019年12月	第42回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集	北本英里子・山田悟史・宗本晋作・及川清昭	掲載決定
移動コストを考慮した街路ネットワークの媒介中心性分析	共著	2019年12月	第42回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：論文 pp.114-117, 2019.12, 日本建築学会	北本英里子・山田悟史・宗本晋作・及川清昭	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
〇〇を学習したAIが作る〇〇風画像	単著	2019年3月	知的情報処理技術習得セミナー「その4:最適化・エージェント・ニューラルネットワーク入門」2019.3, 日本建築学会知的情報処理技術応用小委員	山田悟史
デザインするAI, VR建築理論を目指した基礎研究	単著	2019年3月	関西建築技術研究会第40回CAD情報部会, 2019.3, 関西建築技術研究会	山田悟史
デザインするAI	単独	2019年6月	建築再生展	山田悟史
Deep Learningを用いたデザイン生成AIの支援による「人とAIの共創」に向けた研究 その1 - 任意の街並み・建築物の外観を学習して画像を描くデザイン生成AI -	共同	2019年9月	日本建築学会大会(北陸)学術講演梗概集(情報システム技術), pp.113-114, 2019.9, 日本建築学会	山田悟史・大野耕太郎
Deep Learningを用いたデザイン生成AIの支援による「人とAIの共創」に向けた研究 その2 - 任意の建築物の外観のデザインを演算するデザイン生成AI -	共同	2019年9月	日本建築学会大会(北陸)学術講演梗概集(情報システム技術), pp.115-116, 2019.9, 日本建築学会	大野耕太郎・山田悟史



多次元グラフ理論による建築都市の定量把握	共同	2019年9月	日本建築学会大会(北陸)学術講演梗概集(情報システム技術), pp.65-66, 2019.9, 日本建築学会	北本英里子・山田悟史・宗本晋作・及川清昭
一次救命を実施する非医療従事者の存在確率をふまえたAEDの適正配置	共同	2019年9月	日本建築学会大会(北陸)学術講演梗概集(建築計画), pp.517-516, 2019.9, 日本建築学会	中島昌暉・山田悟史・岩田伸一郎・江川香奈
注視傾向に基づく点群を用いた街路の色彩の定量分析に関する研究	共同	2019年9月	日本建築学会大会(北陸)学術講演梗概集(建築計画), pp.809-810, 2019.9, 日本建築学会	藤井理央・宗本晋作・山田悟史
ヒューマンコンピュータインタラクション技術の建築デザイン分野への応用-建築分野の手仕事の感覚保存・再現-	共著	2019年12月	第42回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集:報告 pp.98-101, 2019.12, 日本建築学会	小島尚之・山田悟史
現実とVR空間における高さに対する知覚・印象の比較検証に基づくVRデザイン-VR建築理論に向けた空間デザインの基礎研究-	共著	2019年12月	第42回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集:報告 pp.36-39, 2019.12, 日本建築学会	村上雅也・横田美実子・山田悟史
VR空間の印象に及ぼす現実空間とのリンクパターン-VRお風呂-	共著	2019年12月	第42回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集:報告 pp.32-35, 2019.12, 日本建築学会	横田美実子・村上雅也・山田悟史
ボリュームモデルに任意のデザインソースのデザイン性を反映させるファサードデザイン AI	共著	2019年12月	第42回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集:報告 pp.180-183, 2019.12, 日本建築学会	池之上慎吾・大野耕太郎・山田悟史
目的に応じたジェネレーティブデザイン AI の体系化	共著	2019年12月	第42回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集:報告 pp.184-187, 2019.12, 日本建築学会	大野耕太郎・池之上慎吾・山田悟史
非医療従事者の一次救命の不確実性をふまえたAED・サインの適正配置	共著	2019年12月	第42回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集:報告 pp.308-311, 2019.12, 日本建築学会	中島昌暉・山田悟史・岩田伸一郎・江川香奈

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	准教授	山本 理佳

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
旧軍施設の観光化—呉市・佐世保市の事例—	単著	2019年6月	人文地理学会第290回例会（特別例会）「軍都の歴史と地理」（於愛知大学）	山本理佳

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	吉富 信太

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Stiffness and damping identification for asymmetric building frame with in-plane flexible floors	共著	2019年9月	Frontiers in Built Environment (Specialty Section: Earthquake Engineering)(5巻103号)	K.Shintani, S.Yoshitomi, K.Fujita and I.Takewaki	pp.1-15
複数建物の微動計測データ群を用いた汎用的逆解析アプローチによる非構造部材の影響を考慮可能な新築建物の層剛性推定法	共著	2019年5月	日本建築学会構造系論文集 (84巻759号)	吉富信太・佐田貴浩・岸本和貴・谷慎太郎・津田慎太郎	pp.609-616
振動計測に基づく伝統木造建物の部位別剛性及び質量の推定法	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集, Vol.13	佐々木俊彰・田淵敦士・瀧野敦夫・吉富信太	pp.31-38
3次元立体解析モデルを用いた旧加悦町役場庁舎の耐震性能評価に関する研究	共著	2019年7月	歴史都市防災論文集, Vol.13	浅野陽彦・吉富信太・中治弘行・須田達・向坊恭介・佐藤英佑・鈴木祥之	pp.15-22

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
柔床仮定下の非構造要素を考慮した初期層剛性の推定法－複数棟の戸建住宅の設計情報及び微動計測を用いた検討－	共著	2019年6月	2019年度日本建築学会近畿支部研究発表会	谷慎太郎
3次元立体モデルを用いた伝統木造建物の耐震性能評価に関する研究	共著	2019年9月	2019年度日本建築学会大会(北陸)	浅野陽彦
戸建て住宅の微振動実測データを用いた逆解析による非構造壁を考慮した層剛性推定モデルの構築	共著	2019年9月	2019年度日本建築学会大会(北陸)	吉富信太
振動計測に基づく伝統木造建物の耐震性能評価に関する研究	共著	2019年9月	2019年度日本建築学会大会(北陸)	佐々木俊彰

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	石田 優子

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
マップコンテストによる子どもの防災・防犯・交通安全教育への取り組みの成果と課題——「第12回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告——	共著	2019年3月	立命館大学歴史都市防災研究所、京都歴史災害研究、第20号	谷端郷・酒井宏平・石田優子	pp.35-41
Consideration of issues and solutions related to the coexistence of cultural properties and the real life of the neighborhood	共著	2019年5月	Emerald insight, Disaster Prevention and Management, Vol. 29, No. 1.	Yuko Ishida・Dowon Kim・Tatsuo Konegawa・Ryoichi Fukagawa	pp. 86-108
熊野参詣道伊勢路「横垣峠」を対象とした観光防災マップの作製	共著	2019年7月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集、Vol. 13	石田優子・今村聡・古根川竜夫・深川良一・中谷友樹	pp.245-252
斜面多点監視を可能にする省電力低価格な傾斜感知器の開発	共著	2019年7月	公益社団法人地盤工学会、第54回地盤工学会研究発表会概要集	石田優子・平岡伸隆・繁田知美・深川良一	pp.1971-1972
下層風が微地形の降雨特性に及ぼす影響——三重県熊野市清水谷において——	共著	2019年8月	公益社団法人地すべり学会、第58回日本地すべり学会研究発表会講演集	酒井俊典・西井和晃・岡島賢二・玉置康大・石川昌幹・後誠介・石田優子・古根川竜夫・由井恒彦・阪口和之・片岡泰・長谷川謙二	pp.117-118
Effect of cement soil stabilization on the prevention of soil outflow from back of the bridge abutment	共著	2019年11月	Proceedings of the 9th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Yuko Ishida・Shoki Takayama・Kazuyuki Izuno・Yoshifumi Satofuka・Taizo Kobayashi・Ryoichi Fukagawa	pp.320-325
セメント系固化材を用いた橋台背面流出防止対策に関する実験的研究	共著	2019年11月	第38回日本自然災害学会学術講演会講演概要集	石田優子・田崎裕貴・高山翔貴・里深好文・伊津野和行	pp.179-180
安全安心マップ作成を通じた小学生親子の防災力向上と課題——「第13回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告——（投稿中）	共著	2020年3月	立命館大学歴史都市防災研究所、京都歴史災害研究、第21号	石田優子・酒井宏平・村中亮夫	
Prevention of soil outflow from the ground around bridge abutment using cement soil stabilization（投稿中）	共著		Journal of GEOMATE	Yuko Ishida・Shoki Takayama・Kazuyuki Izuno・Yoshifumi Satofuka・Taizo Kobayashi・Ryoichi Fukagawa	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
熊野参詣道伊勢路「横垣峠」を対象とした観光防災マップの作製	共著	2019年7月	第13回歴史都市防災シンポジウム	石田優子
斜面多点監視を可能にする省電力低価格な傾斜感知器の開発	共著	2019年7月	第54回地盤工学研究発表会	石田優子
下層風が微地形の降雨特性に及ぼす影響—三重県熊野市清水谷において—	共著	2019年8月	第58回(公社)日本地すべり学会研究発表会	石川昌幹
セメント系固化材を用いた橋台背面流出防止対策に関する実験的研究	共著	2019年11月	第38回日本自然災害学会学術講演会	石田優子
Effect of cement soil stabilization on the prevention of soil outflow from back of the bridge abutment	共著	2019年11月	9th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Yuko Ishida
Landslide and flood disasters caused by 2019 Typhoon 19 <sup>th</sup> -Damage situations at Miyagi and Gunma Prefecture-	単著	2019年12月	The 2 <sup>nd</sup> Joint Workshop on Natural Disasters of Asia and Its Numerical Simulation	Yuko Ishida

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
小学生を対象とした防災教育コンテンツを作成し、それを用いて防災授業、フィールドワーク、マップ作製講習を実施。	共同	広島県福山市立神村小学校	2019年8月 -2020年3月
防災フロンティア研究会2019年度シンポジウム「2019年台風19号による豪雨災害の実態を知る」にて講演。タイトル:「立命館大学調査団の現地被災状況報告—群馬県・東京都における被災状況—」	共同	メルパルク京都	2020年1月17日
滋賀地域地盤研究会にて講演。タイトル:「台風19号被害調査報告—宮城県および群馬県の被災実態—」	共同	立命館大学びわこ・くさつキャンパス	2020年1月23日

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	大橋 弘明

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Suburban fortunes: outer suburban decline and balkanization in Tokyo Metropolis	共著	Under revision (1st revised version submitted)	Urban Studies	Ohashi, H. and Phelps, N. A.	
Diversity in decline: the changing suburban fortunes of Tokyo Metropolis	共著	Under revision (2nd revised version submitted)	Cities	Ohashi, H. and Phelps, N. A.	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Transit Oriented Development (TOD): Japanese Experiences and Beyond	単著	2019年12月	2nd Collaborative Workshop on Housing and Urban Development in Osaka	Ohashi, H.

## 研究業績書

対象期間	2019年1月1日～2020年3月31日	
所属	職名	氏名
OIC 総合研究機構	専門研究員	酒井 宏平

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
A Study on Gaming of Participatory Evacuation Planning in Tourist Area using Agent Simulation, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwatthana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) "Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning"	共著	2019年11月	Springer Science Business Media	Sakai Kohei, Shimizu Hiroari, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	276-286

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
マップコンテストによる子どもの防災・防犯・交通安全教育への取り組みの成果と課題：「第12回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告	共著	2019年3月	京都歴史災害研究(20巻)	谷端 郷・酒井宏平・石田優子	35-41
Mitigating Simultaneous Returning Home after Large-Scale Earthquakes: Changing Tourists' Intentions to Stay through Public Support	共著	2019年12月	IOP Conference Series: Earth and Environmental Science (361巻)	Kohei Sakai, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae	012004

研究発表等					
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名	
A Study on Evacuation Method Using Agent Simulation Based on Tourists' Behavioral intention	共著	2019年7月	Silk Cities 2019	Kohei Sakai, Hidehiko Kanegae	
訪日外国人観光客の防災意識に関する研究：京都市を事例に	共著	2019年9月	日本地域学会	酒井宏平・鐘ヶ江秀彦	

